

令和7年度秋田支部保険者機能強化予算（案）

秋田支部保険者機能強化予算（案）

予算区分		支部予算枠 (千円)	予算枠の算出基準
支部 医療費 適正化 等 予算	①医療費適正化対策経費	10,156	全体予算のうち8億円を、全支部一律に定額部分600万円を設定したうえで、残りを加入者数で按分して加算し、効率化分（3%）を差し引いた額
	②広報・意見発信経費		
	⑧特別枠	2,510	全体予算のうち2億円と各支部の前年度予算枠から3%効率化した0.24億円を合わせた額
支部 保健事業 予算	③健診経費	37,007	40億円を40歳以上の加入者数で按分した上で、効率化分（3%）を差し引いた額
	④保健指導経費		
	⑤重症化予防事業経費		
	⑥コラボヘルス事業経費		
	⑦その他の経費		
	⑧特別枠	9,150	各支部の前年度予算枠から3%効率化した額

特別枠予算

支部保険者機能強化予算の取組に意欲的な支部に対し、通常の予算に追加して予算措置を行うもの
エビデンスを踏まえた自支部の課題解決に向けた取組であり、かつ医療費適正化または加入者の健康増進に資する取組を対象とする
基準額はあくまでも目安であり、基準額以上の予算要求自体に制限は設けない

秋田支部医療費適正化等予算（案）

千円未満切り上げ

区分		新規 継続	取組名	予算額 (千円)	備考
① 医療費適正化対策経費	企画部門関係	継続	WEB広告による医療費適正化広報	2,161	加入者へWEB広告やランディングページを活用した医療費適正化に関する広報
		継続	子育て世代への医療費適正化に関する広報	815	子育て情報誌等への記事や広告、ファミリーレストランのテーブル広告を実施
	小 計			2,977	
② 広報・意見発信経費	紙媒体による 広報	継続	納入告知書同封広報紙、総合パンフレット等の作成	1,802	「健康保険あきた」等事業所向けの定期発行物のほか健康保険制度や手続きについてのパンフレットを作成
		継続	任意継続・療養費(治療用装具)用郵送申請セットの作成	242	窓口申請が多い申請書について、簡単に郵送で申請ができるようセットにしたものを作成。医療機関等に配布
	その他の広報	継続	メールマガジンの魅力向上と運動啓発動画等の作成	1,746	メールマガジンの登録につながるような特設コーナーを作成。また、運動啓発動画を作成
		継続	支部ホームページ掲載コンテンツを活用した広報事業	1,883	健康コラムやレシピを作成してホームページに掲載し、メールマガジンや紙媒体の広報誌等に活用
		継続	作成済み素材を活用した各種広報（バスラッピング、ポスター3種、動画等）	1,505	これまで作成した広報素材を他の媒体にも有効活用し、支部の認知度アップを図る
	小 計			7,179	
合 計			10,156		

秋田支部保健事業予算（案）

千円未満切り上げ

区分	新規 継続	取組名	予算額 (千円)	備考
③健診経費	継続	同意書の取得および事業者健診結果データの取得	5,808	アウトソーシングにより、事業者健診にかかる同意書の取得及び健診結果データの取得
	継続	生活習慣病予防健診および特定健診の支部独自健診案内	1,418	健診の年次案内のための各種広報物作成
	新規	生活習慣病予防健診の集合健診による受診勧奨	891	被保険者に対する公共施設等での集団健診実施と事前文書勧奨
	継続	年次健診案内送付前の健診案内送付による受診勧奨	1,155	生活習慣病予防健診対象事業所に向け、年次の健診案内に先立って、予約方法等を記載した案内文書を送付
	継続	市町村集団健診への特定健診受診勧奨	845	市町村の集団健診の日程チラシを作成し、直前送付
	継続	特定健診未受診者に対する受診勧奨	852	未受診者（被扶養者）に対する文書勧奨
	継続	40歳到達の女性被扶養者への健診受診勧奨	272	令和7年度に40歳を迎える女性被扶養者に対する受診券の送付予告及び受診勧奨
	継続	バスラッピング広告を用いた健診受診勧奨	1,760	秋田支部健診キャラクターを用いたバスラッピング広告にて健診受診勧奨
	継続	被扶養者に対する協会けんぽ主催の集団健診	2,250	被扶養者に対する公共施設等での集団健診の実施と事前文書勧奨
	継続	その他事務経費	246	公民館等での保健指導に関する会場賃借料や測定用機器の購入費等
	小 計			15,497
④保健指導経費	継続	特定保健指導の実施率の向上	1,192	特定保健指導(個人事業所、事業者健診共同利用など)実施に関する勧奨文書送付
	継続	大規模事業所、追加案内事業所への特定保健指導実施勧奨案内（被保険者）	726	特定保健指導時に使用するリーフレット等の作成
	継続	保健指導用パンフレット作成等	700	保健指導に活用するパンフレットを支部独自に作成、購入
	継続	中間評価時の血液検査費	495	特定保健指導実施機関における特定保健指導で、中間評価のために実施する血液検査の費用
	継続	その他事務経費	443	公民館等での保健指導にかかる会場賃借料や測定用機器の購入費等
	小 計			3,556
⑤重症化予防 事業経費	継続	未治療者に対する受診勧奨	8,107	アウトソーシングの委託数増加見込み
	継続	血圧高値の方への受診勧奨	605	健診受診時に血圧高値の方に配布するシールを作成
	継続	事業所への未治療者受診勧奨	420	重症化予防に関する案内文書を作成し、年次案内に同封
	継続	糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	72	医療機関と連携した糖尿病性腎症患者への保健指導にかかる交通費
	小 計			9,204

秋田支部保健事業予算（案）

千円未満切り上げ

区分	新規 継続	取組名	予算額 (千円)	備考
⑥コラボヘルス事業経費	継続	健康経営宣言事業所の拡大及び宣言取組み支援	3,225	健康経営宣言事業所向けに健康に関する各種資料を作成・配布。宣言内容の見直し等フォロー業務
	継続	運輸業団体と連携したコラボヘルス	438	運輸業団体と共同で広報誌「ニュースレター」を作成・配布
	小 計		3,663	
⑦その他の経費	継続	地方自治体等と連携した健康づくりイベントによる啓発事業	970	自治体や医療関係団体と共同で開催する健康づくりイベントのブース出展
	継続	受動喫煙防止啓発による禁煙促進事業	1,309	秋田市母子手帳別冊への広告掲載・秋田市を対象にした三次喫煙防止ポスター・ステッカーを用いた事業展開
	継続	歯と口腔の健康づくり事業	779	歯科健診により糖尿病等生活習慣病と関連がある歯周病を予防
	継続	健康リスク抑制にかかる秋田大学との共同研究	1,285	秋田大学との共同研究や運輸業に対する健康リスクにかかるアンケート実施費用
	新規	子ども健康教育に関する事業	743	本部より提供された健康資材を県内の小学校高学年に提供する事業
	小 計		5,086	
合 計			37,007	

秋田支部特別枠予算（案）

千円未満切り上げ

区分	新規 継続	取組名	予算額 (千円)	備考
⑧特別枠	新規	SNSを活用した減塩促進広報	2,502	健康リスク保有率が高く、特に減塩意識の向上が必須であるため動画を作成し、TVやYouTube等で広報
	新規	関係団体と連携した健診や検診車の積極的広報	7,844	検診車の魅力度を周知する動画を作成し、YouTubeやデジタルサイネージで広報。また、受診率向上のために関係団体等にアリングを実施
	新規	業種を絞った「たばこ」に対する意識調査	1,303	喫煙率の高い業態に「たばこ」に関する意識調査を実施。結果を集計・分析し、フィードバック
合 計			11,649	

分野		支部医療費適正化等予算			
区分	①医療費適正化対策経費		②広報・意見発信経費		
事業名	①-1 WEB広告による医療費適正化広報	①-2 子育て世代への医療費適正化に関する広報	②-1 納入告知書同封広報紙、総合パンフレット等の作成	②-2任意継続申請・療養費(治療用装具)申請書セットの作成	
区分 (新規・継続)	継続	継続	継続	継続	
事業目的	医療費適正化に関する周知広報	時間外受診の抑制による医療費適正化	事業に関するお知らせや制度全般に関する周知広報	退職後の任意継続保険の資格取得申請・療養費(治療用装具)申請の郵送化促進	
事業概要	時間外受診やジェネリック医薬品などの医療費適正化にかかるWEBバナーを作成し、広告による啓発広報を実施する。	秋田市周辺を対象に、子育て情報誌(ママファミ)や秋田市内に配布されるフリーペーパーを利用した広報を実施する。 また、秋田市内にあるファミリーレストランの一部でテーブル広告を実施する。	・日本年金機構が事業所に毎月送付する保険料納入告知書に支部広報紙「健康保険あきた」を同封する。 ・協会けんぽの事業を広く知ってもらうため、総合パンフレット「健康保険はわかりガイド」を作成し、適用事業所を中心に配布する。	それぞれの制度利用促進、申請の郵送化率向上を図るため、申請書と返信用封筒が同封された申請書セットを作成、配布する。	
実施時期	9月～12月	通年	通年	通年	
経費	2,161千円	815千円	1,802千円	242千円	

分野	支部医療費適正化等予算		
区分	②広報・意見発信経費		
事業名	②-3 メールマガジンの魅力向上と運動啓発動画等の作成	②-4 支部ホームページ掲載コンテンツを活用した広報事業	②-5 作成済み素材を活用した各種広報（バスのラッピング、ポスター3種、動画等）
区分 (新規・継続)	継続	継続	継続
事業目的	メールマガジン登録者数およびメール開封率向上 加入者の運動に対する意識向上	秋田支部ホームページ掲載コンテンツの充実および加入者のヘルスリテラシーの向上	健診受診率の向上、喫煙率の減少、塩分摂取量の減少、運動回数の増加によりヘルスリテラシーの向上
事業概要	各種広報誌やメルマガ会員募集チラシなどに特設コーナーを作成。メルマガの魅力向上を目的にメルマガ登録者限定として動画を公開していたが、今年からはより多くの加入者に動画を見てもらうため支部YouTubeチャンネルに運動啓発動画を掲載する。	健康コラムやレシピを作成し、掲載した内容は、メールマガジンや紙媒体広報においても活用し、加入者のヘルスリテラシー向上を目指す。	令和6年度までに秋田支部で作成した各種広報素材を他の媒体にも有効活用した広報を展開する。
実施時期	通年	通年	通年
経費	1,746千円	1,883千円	1,505千円

分野	支部保健事業予算		
区分	③健診経費		
事業名	③-1 同意書の取得および事業者健診結果データの取得	③-2 生活習慣病予防健診および特定健診の支部独自健診案内	③-3 生活習慣病予防健診の集合健診による受診勧奨
区分 (新規・継続)	継続	継続	新規
事業目的	同意書および事業者健診結果データの取得	生活習慣病予防健診および特定健診受診率の向上	生活習慣病予防健診受診率の向上
事業概要	<p>・労働安全衛生法に基づく定期健康診断について、県内で最も多く実施している秋田県総合保健事業団が事業所へ送付する健診のパンフレットに同意書の提出勧奨文書等を同封する。</p> <p>・外部委託により同意書および結果データを取得する。</p>	生活習慣病予防健診等一斉発送のご案内の他に、県内独自の事情周知や、健診情報を効果的に発信するための支部独自印刷物を同封し、受診勧奨を実施する。	公共施設で実施する集合健診について実施機関の情報を記載したDMを事業所に送付する。施設での健診が受けられない場合の対応として公共施設での集合健診を事業所に案内する。
実施時期	通年	一斉発送時から通年	4月～11月
経費	5,808千円	1,418千円	891千円

分野	支部保健事業予算		
区分	③健診経費		
事業名	③-4 年次勧奨案内送付前の健診案内送付による受診勧奨	③-5 市町村集団健診への特定健診受診勧奨	③-6 特定健診未受診者に対する受診勧奨
区分 (新規・継続)	継続	継続	継続
事業目的	生活習慣病予防健診受診率の向上	特定健診受診率の向上	特定健診受診率の向上
事業概要	健診予約が始まる前に、予約方法等を記載した受診勧奨案内文書を事業所に送付し、受診行動を促進する。	協定を締結している大仙市との共同事業として、公民館等で実施している大仙市の集団健診について、加入者（被扶養者）自宅の近隣の健診日程を網羅したパンフレットを健診開催日近くに郵送する。	特定健診未受診者に受診勧奨や事業者健診結果データ提出勧奨にかかるダイレクトメールを送付する。
実施時期	11月～2月	4月～10月	9月
経費	1,155千円	845千円	852千円

分野	支部保健事業予算		
区分	③健診経費		
事業名	③-7 40歳到達の女性被扶養者への健診受診勧奨	③-8 バスラッピング広告を用いた健診受診勧奨	③-9 被扶養者に対する協会けんぽ主催の集団健診
区分 (新規・継続)	継続	継続	継続
事業目的	特定健診受診率の向上	特定健診受診率の向上	特定健診受診率の向上
事業概要	令和7年度に40歳を迎える女性被扶養者に対し、乳がん自己検査グローブを同封し、特定健診・がん検診の受診勧奨および受診券の送付を予告する。	令和3年度より実施しているバスラッピングデザインを更新し、ポピュレーションアプローチによる健診受診勧奨を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・被扶養者を対象に、地域の公共施設や商業施設で無料の集合型健診を開催。対象者宛にダイレクトメールを送付し、受診勧奨を実施する。 ・健診実施機関については、公募による企画競争（企画書提出）を行い、魅力的な健診実施体制を構築できる（加点要素の高い）健診機関を選定する。
実施時期	3月	1月	8月～2月
経費	272千円	1,760千円	2,250千円

分野	支部保健事業予算			
区分	④保健指導経費			
事業名	④-1 特定保健指導の実施率の向上	④-2 大規模事業所、追加案内事業所への特定保健指導実施勧奨案内（被保険者）	④-3 保健指導用パンフレット作成等	④-4 中間評価時の血液検査費
区分 (新規・継続)	継続	継続	継続	継続
事業目的	特定保健指導の実施率向上	保健指導の事業所受け入れと案内率の増加	保健指導時の活用	保健指導利用者の食生活や運動等生活習慣改善努力の効果測定
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導の終了者に対してナッジ理論を活用した文書を送付し、次年度も特定保健指導の対象者に該当しないよう生活習慣の改善を促す。 ・共同利用や訪問案内発送等の際に支部独自印刷物を同封する。 ・集合健診を受診した被扶養者に対して、健診結果説明会の場を活用した特定保健指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導の受け入れが悪い事業所に、支部独自作成のチラシを同封した訪問案内を送付する。 ・支部から大規模事業所に案内を送付する際、特定保健指導のメリットや理解度を高めるリーフレットやパンフレットを作成、送付する。 	保健指導時に全支部一括で使用するパンフレット以外に、ポピュレーションアプローチ及びハイリスクアプローチに活用する食生活(減塩・カリウムを含む野菜・外食・間食等)、運動、たばこ、高血圧症、糖尿病、脂質、メンタルヘルス等に関連した題材のパンフレットを支部独自で作成及び購入する。	特定保健指導の利用者で、生活習慣改善努力の効果測定を希望する者に対し血液検査を実施する。
実施時期	通年	通年	通年	通年
経費	1,192千円	726千円	700千円	495千円

分野	支部保健事業予算			
区分	⑤重症化予防事業経費			
事業名	⑤-1 未治療者に対する受診勧奨	⑤-2 血圧高値の方への受診勧奨	⑤-3 事業所への未治療者受診勧奨	⑤-4 糖尿病性腎症患者の重症化予防対策
区分 (新規・継続)	継続	継続	継続	継続
事業目的	未治療者の医療機関受診率の向上	血圧高値者の減少	未治療者の医療機関受診率の向上	糖尿病性腎症患者に対する重症化予防、QOLの向上、医療費適正化
事業概要	<p>未治療者に対して受診勧奨を実施する。</p> <p>◆一次勧奨対象者（9,000人） 文書勧奨のみ （送付時期：本部からハガキを発送した約1か月後）</p> <p>◆二次勧奨対象者（1,900人）</p> <p>①文書勧奨 （送付時期：本部からハガキを発送した約1か月後）</p> <p>②電話勧奨 （勧奨時期：①の文書勧奨後実施1～2週間後）</p>	<p>生活習慣病予防健診実施機関に依頼し、健診当日に血圧高値の方に対して、血圧などに関する注意喚起のリーフレットを配付する。</p> <p>また、集合健診時に配布する血圧に関する注意喚起のリーフレットを作成する。</p>	<p>・健診年次案内時に重症化予防文書（動脈硬化の進み方を伝える）を同封する。</p> <p>・、経営者または健診担当者向けの重症化予防文書を作成し、健康経営宣言事業所に送付する。</p>	<p>大館市立総合病院より紹介を受けた糖尿病性腎症患者に対し、外来終了後、同院管理栄養士と協会けんぽの秋田県糖尿病療養指導士の資格を有する保健師・管理栄養士が訪問・電話・文書等により、保健指導を実施する。</p>
実施時期	通年	通年	通年	通年
経費	8,107千円	605千円	420千円	72千円

分野		支部保健事業予算	
区分	⑥コラボヘルス事業経費		
事業名	⑥-1 健康経営宣言事業所等の宣言取組み支援	⑥-2 運輸業団体と連携したコラボヘルス	
区分 (新規・継続)	継続		継続
事業目的	健康経営宣言の取組みに対する支援、健康経営の推進	運輸業団体と連携した事業所における健康づくりの推進、健康経営宣言の普及	
事業概要	健康づくりに関する資料やインセンティブ制度に関するリーフレット、塩分摂取量アンケートなど、事業主・事業所担当者・従業員の健康意識が高まるとともに、健康づくりの情報提供や視覚的に訴求力の高い広報を実施する。	業種別にみると運輸業の健康リスクが特に高いことに着目し、協定締結先である秋田運輸支局・バス協会・トラック協会・ハイヤー協会と協力連携して、運輸業界に特化した広報紙「ニュースレター」を作成・配布するとともに、運輸業界における健康経営宣言の普及を図る。	
実施時期	通年		6月、9月、12月、3月
経費	3,225千円		438千円

分野		支部保健事業予算				
区分	⑦その他の経費					
事業名	⑦-1 地方自治体等と連携した健康づくりイベントによる啓発事業	⑦-2 受動喫煙防止啓発による禁煙促進事業	⑦-3 歯と口腔の健康づくり事業	⑦-4 健康リスク抑制にかかる秋田大学との共同研究	⑦-5 子ども健康教育に関する事業	
区分 (新規・継続)	継続	継続	継続	継続	新規	
事業目的	加入者の健康づくり啓発及び関係機関との連携強化	喫煙者の減少	歯周病、糖尿病等の予防	被保険者の将来の健康リスクの抑制	学童期の健康意識底上げ	
事業概要	<p>自治体や関係団体と連携した事業を展開する。</p> <p>①秋田市と共同で健康フォーラムを開催 ②秋田県と共同で受動喫煙防止フォーラムを開催し、広報物等を配布 ③関係団体と連携して、イベント等でのブース出展や広報物の配布 ④各市町村や関係団体と連携して、ブース出展や広報物を配布 ⑤令和6年に実施した鹿角市との共同事業を継続。受診勧奨DMを送付</p>	<p>受動喫煙などの喫煙による害の啓発や受動喫煙防止施設の登録拡大に取り組む。</p> <p>①母子手帳等に受動喫煙の害についての広告を掲載 ②子どもを介した親への啓発を行うため、部活動をしている中学生を対象に配布される体育協会発行の広報誌に広告を掲載 ③県と共同で実施している受動喫煙防止施設登録認定事業に関連して、事業所に受動喫煙防止宣言ミニのぼりを配布 ④令和5年度特別枠事業で秋田市を対象を絞り作成した「三次喫煙防止ポスター・ステッカー」を新規宣言事業所等に配布</p>	<p>秋田県歯科医師会、秋田県口腔支援センターと連携し、歯周病と糖尿病に関する啓発活動と歯科健診、歯科に関する保健指導を実施する。</p>	<p>生活習慣病リスク保有割合が高い要因を教育研究機関と共同研究</p> <p>トラックドライバーを対象に栄養調査を実施し、栄養バランスのフィードバックを行うことで介入調査を実施する。</p>	<p>本部より提供される子ども健康教育に関する資材を、各種イベントにて配布する。</p>	
実施時期	①10月 ②6月・11月 ③3月 ④7月～10月 ⑤5月	①4月、②4月、9月 ③・④通年	6月～3月	通年	通年	
経費	970千円	1,309千円	779千円	1,285千円	743千円	

分野	支部保健事業予算		
区分	⑧特別枠		
事業名	⑧-1 SNSを活用した減塩促進広報	⑧-2 関係団体と連携した健診や検診車の積極的広報	⑧-3 業種を絞った「たばこ」に対する意識調査
区分 (新規・継続)	新規	新規	新規
事業目的	血圧リスク保有者の減少	生活習慣病予防健診実施率の向上 特定保健指導数の増加	喫煙者の減少 受動喫煙防止 秋田県と共同している「受動喫煙防止宣言施設」登録数の増加
事業概要	令和5年度に実施した塩分摂取量調査結果をもとに、20～30代の利用率が高く、広告スキップのないTVerを用いた動画広告、若年層へ向けたX広告を実施する。 また、YouTubeを利用し、塩分摂取量が多い傾向にある40～50代男性に減塩啓発広報を実施する。	・医療機関と相違ない環境で受診することができる検診車の動画を作成し、秋田支部YouTubeや県内全域へデジタルサイネージを用いた広報を実施する。 ・協定締結等を通して構築した関係団体とのネットワークを活用して、生活習慣病予防健診未受診者の状況や健診会場に値する施設等について関係団体にヒアリングを行い、実施率の向上を図る。	現状を把握するため、喫煙者の割合に関する地域差指数-1が高い業態に対して、業界団体を通じ、たばこへの意識調査を実施。その結果を回答事業所にフィードバックするとともに、結果や傾向を県全体に発信する。
実施時期	6月～12月	通年	通年
経費	2,502千円	7,844千円	1,303千円